

多血小板血漿（PRP）を用いた不妊治療が、2020年1月14日に近畿厚生局に受理されました。

詳しくはこちらをご覧ください。

難治性不妊に対する多血小板血漿（PRP）を用いた不妊治療

多血小板血漿（PRP：platelet-rich plasma）とは、血小板を濃縮したものを指しています。血小板は、血液を凝固させる働きがあり、その際に血小板から傷んだ組織の修復を促進する物質（成長因子）が供給されます。

PRP療法とは、PRPに含まれる血小板の成長因子が持つ組織修復能力を利用し、人が本来持っている治癒能力や組織修復能力・再生能力を最大限に引き出す再生医療です。

PRP療法は、整形外科や皮膚科、歯科口腔外科などにおいて臨床応用されています。

スポーツ選手のケガの治療では、メジャーリーガーの大谷翔平選手などがPRP療法を受けたことでも話題になりました。

ご自身の血液成分だけを用いた治療ですので、アレルギーや感染症は最小限に抑えられ安全性が高いといわれております。

難治性不妊の方へのPRP（多血小板血漿）を用いた治療を開始しました！！

PRP療法とは、人が本来持っている治癒能力や組織修復能力・再生能力を最大限に引き出す治療（再生医療）です。

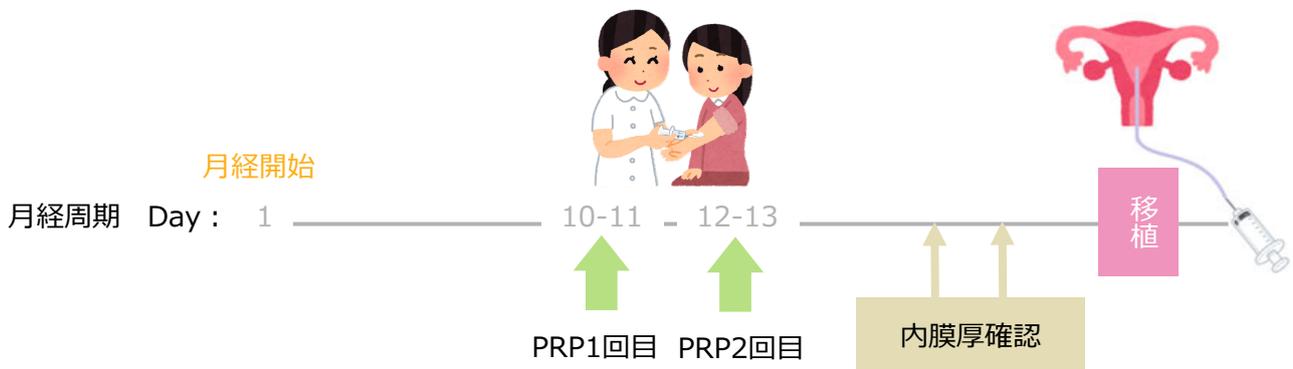
患者様自身の血液から抽出したPRP（多血小板血漿）を子宮腔内に注入します。

※ PRPは細胞の成長を促す物質や免疫に関わる物質を含むため、子宮内膜が活性化され受精卵（胚）が着床しやすくなると考えられています。

対象

- 子宮内膜が薄くて胚移植ができない方
- 何度移植しても着床しない方

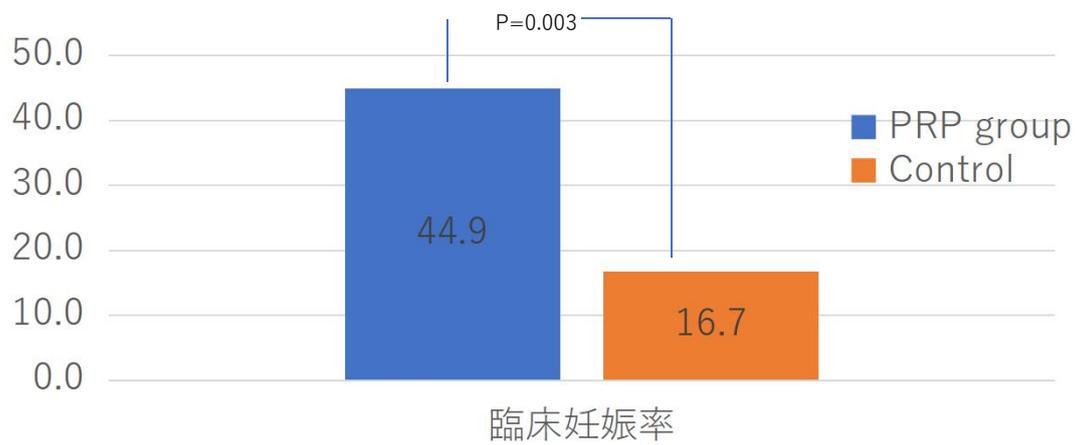
着床率が上がり、妊娠が期待できます！！



※ PRP注入当日は、採血～注入までにお時間がかかりますのでご注意ください。
※ 検査方法などの詳細については、医師または看護師にご相談ください。

体外受精における妊娠の結果

	PRP group (n=49)	Control group (n=48)	P値
臨床妊娠	22 (44.9%)	8 (16.7%)	0.003



The effects of autologous platelet-rich plasma in repeated implantation failure: a randomized controlled trial